

第36回雲南懇話会

2016年3月19日・於 J I C A 研究所国際会議場

ハニ族における 稲作農耕と伝統的知識の継承

首都大学東京大学院人文科学研究科社会人類学教室博士後期課程

红河学院国际哈尼/阿卡研究中心高级访问学者

阿部朋恒

E-mail: huanghexing@hotmail.com



本発表の構成

- ・ イントロダクション
- ・ ハニ族の生活とコメ作り
- ・ 伝統を継承していくために

イントロダクション

ハニ族の紹介——基本情報

ハニ（アカ）族

中国西南部の雲南省、タイ、ベトナム、ラオス、ミャンマーにまたがる山地に居住し、棚田水稲耕作ないし焼畑耕作を生業としてきた人々。中国の民族政策においてはハニ族（哈尼族）とされるが、ベトナムを除く周辺の国では一般にアカと呼称される。人口は中国内に約160万人、中国以外の東南アジア諸国に約40万人とされる。チベット＝ビルマ語族に属するハニ語を話す。離れた地域の出身者同士では意思の疎通が図れないほどに方言の差異が大きい。中国では1950年代にローマ字を用いたハニ語の表記法が考案されたが、普及率はゼロに近い。

イントロダクション ――ハニ族の紹介



雲南省紅河ハニ族イ族自治州

ハニ = アカ族 居住分布

(Google map)



資料提供：紅河学院楊六金教授

イントロダクション

――ハニ族と私のかかわり



- ← 物置を改装
- ↓ 改築儀礼後の宴会
- 調査基地

2011.9~2013.3: 雲南省紅河州内のハニ族村落で1~3か月の短期調査

2013.4~2015.1 : T村での長期調査 (2015年7-8月、2016年1-2月再調査)

イントロダクション

——ハニ族と私のかかわり



← T村遠景

↓ T村村内景観



イントロダクション

ーハニ族と私のかかわり



(Google mapより)

● T村

— 河川

北側：紅河（ソンコイ河）

南側：beeqna lolba

紅河 T村

：バス三時間、徒歩一時間

イントロダクション

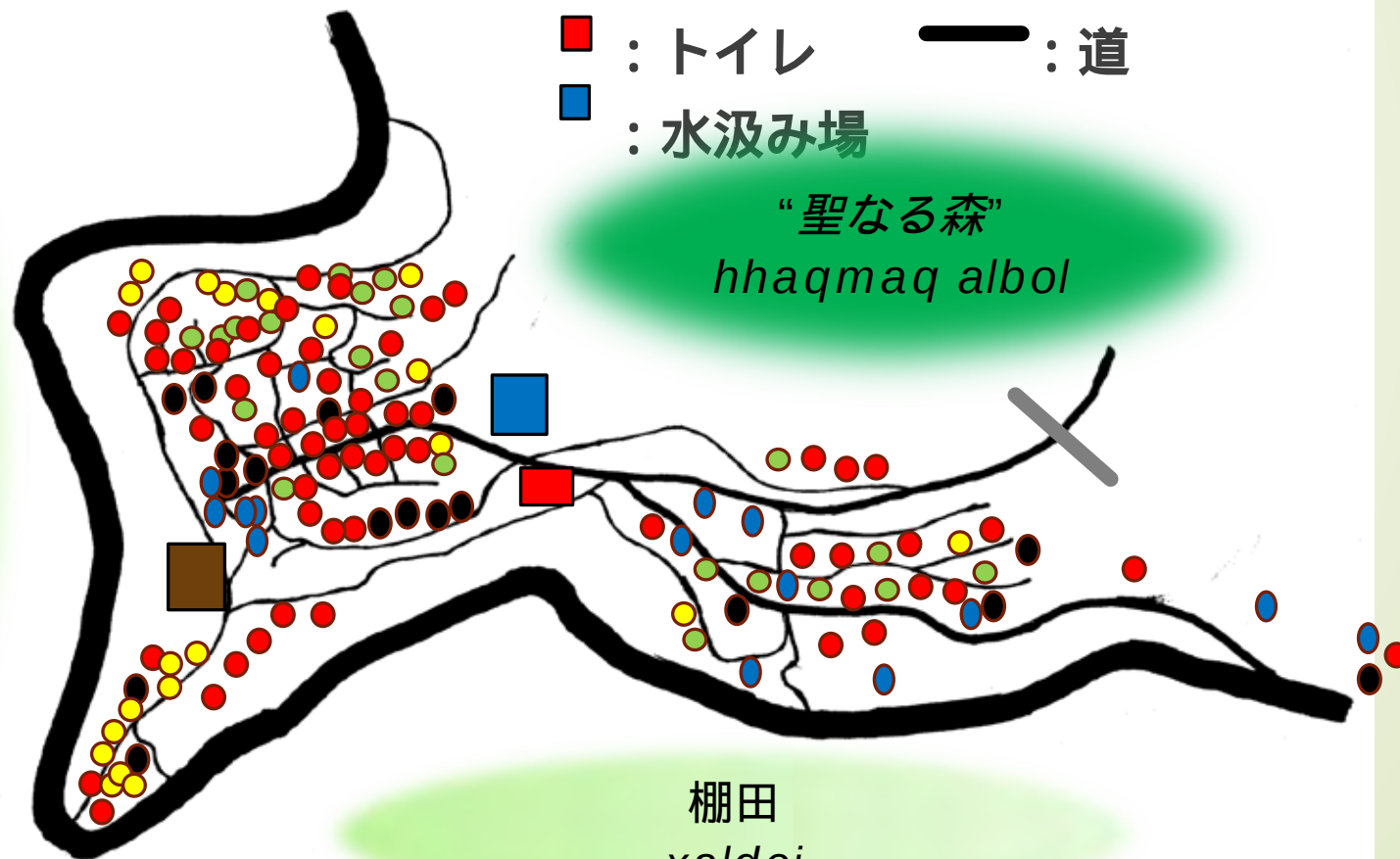
ーハニ族と私のかかわり

- : 家屋 (色はリネージの区別)
- : 儀礼広場
- : トイレ
- : 水汲み場
- : 村門
- : 道

棚田
xaldei

“聖なる森”
hhaqmaq albol

棚田
xaldei



イントロダクション

ーハニ族と私のかかわり



ツォミミ（命名儀礼）

八二族の生活とコメ作り

――農作業と主要儀礼のサイクル

zhalleil teiq
kalyei pol

kuqzaq zaq

qeilsil zaq

hhaqmaq tul

12月	苗床の準備（水路整備、田おこし、田すき、施肥）
1月	播種、田んぼの整備（田おこし、田すき、畦の補修）
2月	田植え
3月	
4月	
5月	水量の調整（水路の巡回）、雑草とり、施肥
6月	
7月	
8月	収穫（刈りとり、荷運び、稲わらの処理、畦の補修）
9月	乾燥、脱穀、精米、貯蔵
10月	
11月	
12月	

茶色字は家畜、青字は機械を使う作業









ハニ族の生活とコメ作り ――近年の変化と現状

20年前

徒歩一時間の場所で定期市開始

→食料の完全自給が崩れ始める

ハイブリッド米を導入

→労働量が減り、出稼ぎが一般化しはじめる

10年間

送電がはじまる

→薪の必要量が減り、森林が開墾される

家電製品（テレビ、携帯電話、IH調理器）

→かまど（囲炉裏）を中心とした生活空間に変化

現在

漢語リテラシー、戸籍制度など主流文化への合流傾向

八二族の生活とコメ作り ——近年の変化と現状



八二族の生活とコメ作り ——近年の変化と現状



ハニ族の生活とコメ作り ――近年の変化と現状

- ′ コメのほとんどが自家消費
 - ・ 生産者価格が安すぎる（一キロ 20 ～ 40 円）
 - ・ 定期市までの運搬が困難
- ′ ハイブリッド米の作付が 90 % 以上
 - ・ 政府の後押しと補助
 - ・ 在来品種の赤米は手間がかかり、収量が安定しない
- ′ コメづくりに関連する知識の継承は難しくなりつつある
 - ・ 伝承歌にあるやり方とは別の「科学的」な方法が浸透
 - ・ 若者を中心に、出稼ぎが長期化する傾向
 - ・ 商品作物への転換の模索
- ′ 赤米の作付はなくなってはいない
 - ・ 特定の儀礼や客を歓待する場面では赤米が必要
 - ・ 「ハイブリッド米はまずい」という認識



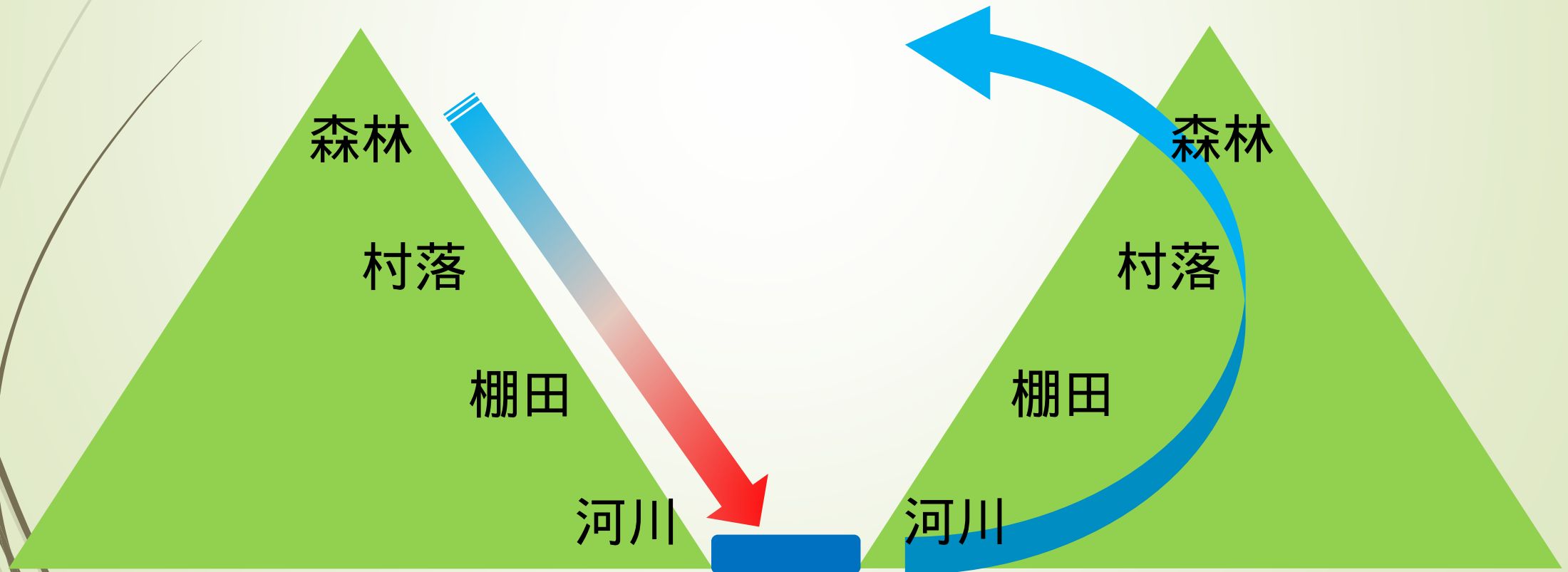
伝統を継承していくために ——赤米の日本酒づくりプロジェクト

- ・ 「村にいること」が伝統を継承するための要
 - ・ 「（村の）ソトには、ハニ族のやり方（yoqlil）を持って行かない」
 - ・ （未来の）儀礼的村長と呼ばれる少年
- ・ 地元でとれる農産物の商品化
 - ・ 通常の2.5倍の価格がついたお土産用の赤米
 - ・ 「世界遺産」ブランド×無 / 低農薬農法×健康志向の流行
- ・ 日中の研究機関による共同プロジェクト構築
 - ・ 地域と学問領域を横断した実践の場ができつつある
 - 誰にとっても「専門外」になるため、具体的な動きがとりにくい
 - 関税、酒造技術、販路、公正な利益還元の方法・・・課題は山積み

伝統を継承していくために ――勘違いにご用心

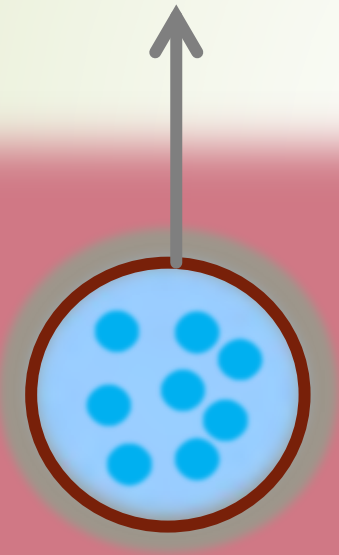
人と自然の調和は彼らの思考、行動、生活を支えている。彼らは太陽、月、山、河、森や火などの自然現象を崇拝する。

[UNESCO online: list/1111]



伝統を継承していくために ――勘違いにご用心

村の境界

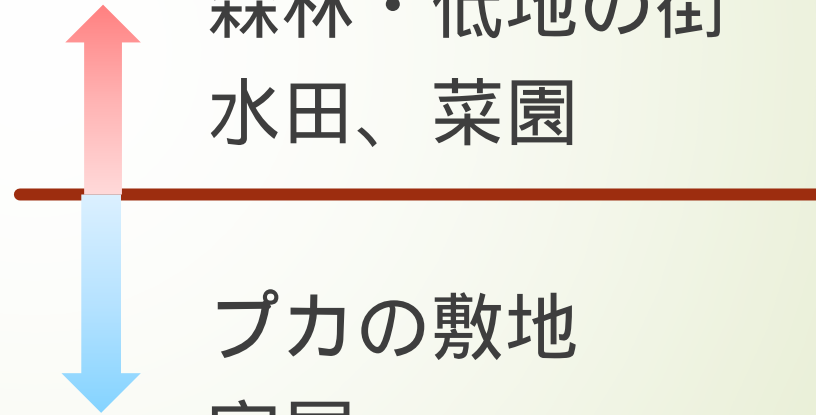


外 (laqn timer)

精霊 (neiqha) の住む空間

森林・低地の街

水田、菜園



プカの敷地

家屋

人間 (col) の住む空間

内 (laqhyul)

伝統を継承していくために ——勘違いにご用心



伝統を継承していくために ——同じものを見ることの難しさ

- 2013年6月 第37回世界遺産委員会（プノンペン）
「紅河八二棚田群の文化的景観」の登録決定
(Cultural Landscape of Honghe Hani Rice Terraces)
- このニュースを吹聴すると・・・
酒の肴に恰好の話題としてひとしきり言い合いになる

祖先の水田がきれいだ、八二のヨリがよいと、外の外国人がそのように言っている
Aqpyuq aqbol e xaldei fuqzha, haqniq yolil meeq, laqnil e Waqgo col xilmei lei eil.

伝統

景観

文化

ひとごと



伝統を継承していくために ——同じものを見ることの難しさ

祖先の水田がきれいだ、

aqpyuq aqbol e xaldei fuqzha,

八二の“ヨリ”がよいと、

haqniq yolil meeq,

外の外国人がそのように言っている。

laqnil e Waqgo col xilmei lei eil.。

“環境” “景観”

“传统”

“文化”

→ *xaldei* / *xaldei* →

→ *aqpyuq aqbol* / *aqpyuq aqbol* →

→ *yolil* / *yoli* →

A

水田

祖先

规矩、礼貌

B

AとBの間にある大きな溝を常に意識すべき

おわりに

——私とハニ族／雲南のこれから

- ′ 細く長く付き合っていく
 - ・ 村を去るときの見送りもなくなった（信頼の裏返しとしたい）
 - ・ 国を跨いでも携帯電話で簡単に声を聞ける時代
 - ・ 名づけの子、兄弟として暮らした関係を続けていきたい
- ′ 学ぶ姿勢、努力を続ける
 - ・ 村を出た次の日から、言葉も感覚もどんどん鈍る
 - ・ 「勘違い」を膨らませないように気をつけたい
- ′ 雲南で暮らした経験を生かしていく
 - ・ 四年間で見たこと、聞いたこと、味わったことを「論文」だけに押し込めてしまうのは惜しい
 - ・ 学問の方法と（頑張って就職してからは）研究者の立場を使って、雲南で面白いことがしたい

おわりに

——私とハニ族／雲南のこれから

- ／ 「網の上の社交場：中国雲南省の **烤(シャオカオ)**」
- ／ 「山地農耕民ハニにおける **たばこ**の贈与・交換についての民族誌的研究」
- ／ 「害虫か、精霊か—**ダニ**をめぐるエピソード」
- ／ 「雲南省 **ハニ族の村で暮らす**—文化（社会）人類学のフィールドワーク」
- ／ 「先住民族からみた『世界遺産』—紅河ハニ棚田の **世界遺産**登録をめくって」

ご清聴ありがとうございました

